

大妻同窓会福島だより



前列左より
平栗麻衣、佐藤瑞穂、井上会長、武藤みや子、斎藤幸子、斉藤悦子
後列左より
阿部晶子、三浦節子、越尾茂子、小松宏子、大竹美登里、渡部幸子

福島とチェルノブイリ

大妻同窓会福島代表 武藤みや子

私は、昨年(2017)の3月8日から15日までドイツに滞在しました。

第1次世界大戦の関係国(ドイツ、アメリカ、中国、日本)から集まった約200名の合唱団員の一人としてヴェーバーの「第九」を歌ったのです。リュウネブルク、ボン両市での演奏会は素晴らしいもので、言葉はうまく伝わらなくても音楽を通して心が通い合う、ということが良くわかりました。そこには勝者も敗者もなく、会場全体が一つになり平和を願いました。

そして東日本大震災が起こった3月11日。リュ

ウネブルクの街を散策中、小さな広場で男性が数名横断幕を持って立っていました。そこには「6 FUKUSHIMA 31 TSCHERNOBYL」と書いてあり、胸の缶バッジには日本語で「原子力おことわり」と書かれていたのです。ドイツの人々の行動に、福島もチェルノブイリも絶対忘れてはならないということを再確認しました。

福島はまだまだ復興半ばです。これから先も予測のできないことが待ち受けています。あの震災と原発事故を忘れずに後世に伝えていくのも私たちの役目だと改めて思いました。

ごあいさつ

一般財団法人大妻コタカ記念会
会長 井上小百合

大妻同窓会福島の会員の皆様いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

昨年は同窓会設立10周年を迎えられ誠に喜ばしいことでした。ただ、設立にご尽力された岸本有代さんがいらっしゃらなかったことは何とも悲しく残念でなりません。きっと会のこれからをずっと見守ってくださることでしょう。

さて、今年は大妻学院創立110周年を迎えます。小さな家塾から一万人を超える学生生徒を有する大きな学園に発展してきたことは、卒業生の皆様にとって大きな喜びであろうと存じます。コタカ先生、良馬先生の学校運営に対する崇高な志、幾多の困難にもめげず前に進んで行かれたコタカ先生の不屈の信念、そして建学の精神を受け継いできた多くの方の努力により今日あることを改めて思うものです。

大妻コタカ記念会では創立110周年記念事業の一つとして、広島県世羅町にある大妻コタカ先生の生家を当主の熊田喜賢さんから譲り受け、今後記念会で管理をしていくことになりました。コタカ先生の愛した久恵の里、三川ダムのほとりの風向明媚な場所にたたずむ生家。そこを訪れると、「勉強したい」という強い意欲を持って東京に出たコタカ先生の並々ならぬ向学心を感じます。どうぞ皆様も一度は訪れてみていただきたいと思っております。

大妻同窓会福島が20周年に向け着実に進んで行かれるように期待を寄せ、大妻コタカ記念会へのご協力も賜りますようよろしくお願い申し上げます。

「大妻同窓会福島」 設立10周年によせて

昭和38年大学家政卒 佐藤 瑞穂

大妻同窓会福島支部が誕生して10周年になるうとは、誠に時の流れの早さに驚くばかりです。郡山駅近くのホテルで初めての同窓会が開かれ、宮城支部から来賓として来られた方々に助言をいただきこの会が発足しました。

ただあの時すべてが未知のもので、不安ばかり募り、支部長の選出に大変苦慮したことが思い起こされます。幸い岸本さんが引き受けてくださり一同安堵致しました。本当に重責だったことと想像され、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。こんな訳で会の組織ができ、会員の親睦を深めることができました。この土台作りに力を注いで下さった前支部長の岸本さんが昨年亡くなり、この10周年を共に喜びあうことができず本当に残念でなりません。この紙上をお借りし、ご冥福をお祈り致します。本当にありがとうございました。

100年を超える伝統のある母校は、全国津づうらうらに卒業生を有し、それぞれの心に「恥を知れ」の校訓を忘れることなく精進していることと思います。

福島支部も、母校と共にさらなる発展の為に、今後は若い人の参加を一人でも多くしたいものと切に願い、そのよき方策がないものかと考えている今日この頃です。



平成29年度総会が開催されました

平成29年10月22日(日) 郡山ビューホテルアネックス 舟津

総会を無事終了することができました。参加された皆様方からの感想です。

昭和20年専技卒 斎藤 幸子

10周年記念総会の10月22日は折悪しく台風21号接近の低気圧の影響で悪天候にもかかわらず、井上同窓会会長のご光来をいただき郡山市で開催されました。

私達20年専技卒業生は、戦時状況も厳しく学徒動員で生死を共にした関係から、クラス会は、東京をはじめ、世話人は全国の出身地で担当して毎年開催しましたが、閉会後の半世紀余の記録資料を昨年四月、大妻コタカ記念会に寄贈いたしました。その折タクシーで九段坂上から通称大妻通りの両側の立派なキャンパス、母校の発展に感動した経緯もありましたので井上同窓会長の記念講演「大妻の現在とこれから」今年は創立110周年の大妻学院にお母様のご健在中に「良妻賢母」を目標に学んだ事の幸せと誇りを感じました。

昭和42年短大被服卒 斉藤 悦子

平成29年10月22日郡山ビューホテルアネックスにおいて、大妻同窓会福島の平成29年度総会懇親会を開催いたしました。福島支部代表の武藤みや子様のご挨拶に続いて、ご来賓の大妻コタカ記念会会長の井上小百合様よりご挨拶をいただき、また、「大妻の現在とこれから」の題でご講演をいただき、改めて在学当時のことを思い出しました。

ぜひ今度みんなで母校を訪問してみたいと思いました。

昭和52年短大被服卒 大竹美登里

大妻コタカ先生の自伝のマンガ本を読ませて頂いて、本当に情熱と愛情と努力で、学校を経営してこられたという事が、よくよく分かりました。井上会長の大妻の近況と、大先輩であられます斎藤幸子さん（御年92才）のお話も、毎回とても興味深くこちらまでパワーを頂いて帰る次第です。皆様もどうぞご参加下さい。



昭和53年短大英文卒 阿部 晶子

平成29年10月22日、ビューアネックスホテル舟津において、総会・懇親会が開かれました。今回は初参加の方もいらっやって、楽しくおしゃべりしながら和やかに会が進行いたしました。

井上小百合会長の講話「大妻の現在とこれから」のお話を聞きまして、女子大学がこれからの時代に何を求められて進歩していったらいいのかを考えさせられました。市ヶ谷の一等地に新しいキャンパスと学寮も建設され、長い歴史と伝統を持った大妻学院がますます発展していく様を楽しみに見守っていただけると切に思いました。

会津の役員の皆様ご準備ありがとうございました。

昭和56年短大英文卒 越尾 茂子

早いもので大妻同窓会福島の仲間に加わらせて頂いてから4年になりました。毎年の総会で会員の皆様とお会いし、違う年代の方から昔の様子や近況報告、そして井上会長様から現在の大学や寮のことなど伺うのがとても楽しみです。私は短大で2年間という短い間でしたが、同窓会を通じて大学が更に身近に感じられるようになりました。

昭和56年短大英文卒 三浦 節子

私は大妻同窓会福島に入会して4年になります。今回の総会は設立10周年記念総会ということで、郡山市で開催されました。記念会から井上会長をお迎えし、会員11名でおいしい料理で和やかに繰り広げられました。

皆様お一人お一人の近況報告をお聴きしますと、元氣と勇気を貰い前向きな気持ちになります。

年に1度、会員の皆様と同じ時間を共有できることが私の楽しみの一つになっております。次回の総会にお会いできることを楽しみにしております。



大妻女子大学「地域連携プロジェクト」について

大妻女子大学被服機能設計学研究室では「被災地きずなプロジェクト」と題し、東日本大震災で大きな被害を受けた福島県の小学校の児童たちと“衣服”を通じて繋がりを深めてきました。今年度は平成30年2月5日(月)に大野・熊町両小学校の児童を対象として、出張授業を行いました。

低学年では、機能性繊維や布の織り方を中心に授業を実施。実際に布を手にとってもらい、クイズや、毛糸を使って平織りを体験してもらいました。小学生達が積極的に参加してくれたので、とても盛り上がりました。配布したワークシートにも「楽しく授業をうけることができました」と感想を書いてくれたので、とてもやりがいを感じることができました。



(3年 我妻エリカ、石黒里奈、江守聖奈、落合美登、渡邊由夏、村田茉里恵、入口瑞菜)

私たちが担当した高学年の児童の皆さんには、洗剤の仕組みやその効果を中心に実験授業を実施。熱心に授業に取り組んでもらうことができました。授業の内容が難しい部分もありましたが、内容を理解し、今後の生活に生かそうとしている姿勢が伝わりました。準備は色々大変な所も多かったですが、現地の先生方の協力もあり、無事に終える事が出来ました。自分達が学んできた知識を生かし、大野・熊町小学校の皆さんと、楽しく絆を深めることができました。今後も様々な形で、絆が深まる機会を作ることができるよう励んでいきます。



(3年 市川舞奈、浦上春、近藤裕佳、新堂可奈、菅原まどか、三浦咲)

大妻同窓会福島役員 (平成30年度)

代 表	武 藤 みや子 (昭45 大学 家政卒)
副 代 表	渡 部 幸 子 (昭50 大学 食物卒)
副 代 表	大 竹 美登里 (昭52 短大 被服卒)
会 計	越 尾 茂 子 (昭56 短大 英文卒)
会 計	三 浦 節 子 (昭56 短大 英文卒)
監 査	阿 部 晶 子 (昭53 短大 英文卒)
監 査	小 松 宏 子 (昭53 大学 被服卒)
相 談 役	佐 藤 瑞 穂 (昭38 大学 家政卒)

平成30年度の計画

10月21日(日) 平成30年度総会・懇親会

郡山ビューホテルアネックス

随 時 役員会

平成31年

3月31日 会報第11号発行

<ご 寄 付>

総会時に御祝儀、お菓子をいただきました。
ありがとうございました。

大妻同窓会福島 会費納入のお願い

◎ 年 会 費 1,500円

入会を希望される方、お忘れの方は下記にお振り込みくださいますようお願いいたします。

加入者名：大妻同窓会福島

口座記号番号：

編集後記

平昌オリンピックでは日本が13個という過去最高のメダルを獲得して大活躍。選手たちの輝く姿に感動と勇気を頂きました。

大妻同窓会福島は11年目を迎え、また新たな一歩を踏み出します。総会には多くの皆様方のご出席をお待ちしております。 (越尾 茂子)

大妻同窓会福島会報
編集発行人 武藤みや子
発 行 所 大妻同窓会福島
発 行 日 平成30年3月31日
印 刷 所 有限会社 わかさ印刷
(会津若松市町北町上荒久田字崖下16-2)